



美浜町に開校した3つの小学校

# 新たな学校教育へ

4月1日に、町内の7つの小学校を3校に再編し、新たに「美浜西小学校」、「美浜中央小学校」、「美浜東小学校」が開校しました。

新小学校は、これまで長い間受け継がれてきた小学校の伝統・文化を継承し、今、新たな一步を踏み出しました。



3つの小学校ができました



校章と校歌が新しくなりました



体操服が新しくなりました



美浜東小学校  
山口将登 さん



美浜中央小学校  
廣瀬美早紀 さん



美浜西小学校  
八木崇叶 さん

- ① 戸嶋副町長から校旗を受ける今村安宏校長
- ② 新たな決意で開校に臨む児童（美浜西小学校）
- ③ 山口町長から校旗を受ける森本克行校長
- ④ 校長先生の話真剣な表情をみせる新入学生（美浜中央小学校）
- ⑤ 大同教育長から校旗を受ける清水美由紀校長
- ⑥ 春の風を合唱する児童（美浜東小学校）



↑ 防犯ブザーを贈呈する山口会長（美浜ライオンズクラブ・左）  
→贈呈された防犯ブザー



↑ 防犯ブザーを贈呈する栗田社長（福井エフエム放送 株・左）  
→贈呈された防犯ブザー

**防犯ブザーを贈呈**

新入学生76人へ

3月26日に福井エフエム放送(株)から、3月30日に美浜ライオンズクラブから、町へ防犯ブザーの贈呈が行われました。

このブザーは、小学生のランドセル等に取り付け、不審者から身を守るために使うものです。

いただいた防犯ブザーは、4月6日の各小学校開校式会場において、町から各小学校長へ贈呈されました。

**町**では、近年の少子化による学校教育環境の変化に対応するため、平成23年度から小学校の再編について検討を重ね、平成25年7月に「美浜町小学校再編基本計画」を策定して平成27年4月1日から7校を3校に再編することとしました。

今回の再編により、町内小学校は、美浜西小学校134人（美浜北小学校・美浜南小学校）、美浜中央小学校146人（新庄小学校・弥美小学校）、美浜東小学校135人（美浜東小学校・菅浜小学校・丹生小学校）の3校体制となり、校名や校章、校歌の変更をはじめ、体操服も新しくなりました。

4月6日には、それぞれの小学校で開校式及び入学式が行われ、新小学校の第1期生76人が入学しました。開校式では、町から各小学校長に新たな校章で作られた校旗が授与された後、新校歌が披露され、美浜町の3つの小学校がスタートしました。



美浜中央小学校



美浜東小学校





弥美小学校  
5年 金松 凌さん



5年間過ごした弥美小学校が終わることは悲しいですが、新しい小学校が始まることは楽しみです。

この学校では、休み時間にいつも校庭でサッカーをして遊びました。

弥美小学校は、大縄大会や体育祭の時等、チームワーク、団結力がとてもある学校です。新しい美浜中央小学校も、みんなが明るくてたくましく、団結力がある学校にしていきたいと思えます。

これまでの交流授業では、新庄小学校のみんなとあまり話しをすることができなかつたけど、ゆっくり時間をかけて仲良くなりたいです。

たくさん話をして、たくさん遊んで仲良くなりましょう。



新庄小学校  
5年 久保 来人さん



新庄小学校が無くなることは少し寂しいです。

学校生活では、無農薬米を1年間かけて作ったことが印象に残っています。地域の方々に指導してもらい、暑い中で雑草を取ったり、みはまナビフェスで販売等をしました。友達とは、いつもサッカー等、グラウンドで体を動かして遊びました。

新庄小学校は、豊かな自然に囲まれた環境で、人がとても優しい学校です。この学校では、全校児童で行動することで、リーダーとして下級生を引っ張れるように成長しました。人見知りな性格ですが、新しい美浜中央小学校では、みんなの前で意見を言えるようになりたいです。

新しい学校は、みんな仲良しで元気がある明るい学校になってほしいです。弥美小学校の皆さん仲良くしてください。



菅浜小学校  
5年 吉本 梨乃さん



これまで多くの方が通ってきた小学校が無くなることは寂しいです。

一番の思い出は、最後の体育大会です。地域の方をはじめ、多くの方が協力してくれました。全校児童での手つなぎ一輪車は、昼休み等に一生懸命練習し、当日は初めて一回で成功しました。また、毎週木曜日に5・6年生がリーダーとなり、全校児童で遊んだことも心に残っています。

菅浜小学校は、児童数が少ないため、全校児童で行動することが多く、集団活動の中で、下級生のリーダーとなることも経験しました。美浜東小学校でも、菅浜小学校と同じように、みんなで仲良く生活したいです。

美浜東小学校の初の6年生として、下級生の良いお手本となれるように、みんなで一緒に頑張りましょう。



丹生小学校  
5年 山瀬 奏斗さん



伝統ある小学校が無くなることは寂しいですが、新しい学校での生活には

ワクワクしています。

一番の思い出は、最後の体育祭です。3年前から始めた「よさこい」は、今年で最後ということで、これまでと違う振り付けに挑戦しました。みんなで昼休み等に一生懸命練習し、当日成功したことを覚えています。他にも、サッカーやキックベース等、全校児童でたくさん遊んだことも良い思い出です。

丹生小学校は、友達の気持ちを考えて行動できるばかりで、みんなのお陰で私も人に優しくなれたと思います。新しい美浜東小学校も、みんなが仲の良い学校になってほしいです。

新しい学校では、自分から積極的に話しかけるため、皆さんもたくさん話しかけてください。皆さん友達になりましょう。

児童たちは  
母校で何を感じ  
何を学んだのでしょうか



美浜北小学校  
5年 宮下 妃海さん



美浜北小学校が無くなるのは寂しいです。最後の体育祭では、全校児童で「よさこい」を踊りました。高学年が低学年を指導して一生懸命練習し、当日は、地域の皆さんと一緒に盛り上がったことが心に残っています。

これまでは、人数が少なかったため、新しい美浜西小学校では大勢でいろいろなことを遊びたいです。また、6年生になるため、下級生を引っ張っていきたくたいです。

美浜南小学校の同級生は、私が1人増えるだけであまり変わらないかもしれませんが、私自身頑張るので、みんなで友達になり、みんなが楽しく過ごせる学校生活を作っていきます。



美浜南小学校  
5年 林 星良さん



美浜南小学校とはお別れになりますが、この学校で過ごした思い出をいつまでも大切に、新しい美浜西小学校でも頑張りたくたいです。

この学校での一番の思い出は、音楽学習発表会に向けて放課後も一生懸命練習し、当日は心に残る合奏・合唱ができたことです。また、仲の良い友達とたくさん話しました。

美浜南小学校は、みんなが仲間を思いやり、大切にします。みんなが優しいため、私も優しくなれました。

4月からは、新しい友達と仲良くできるか不安もありますが、新しいことが始まることにはワクワクしています。美浜西小学校を笑顔がたくさん溢れる学校と一緒にしていきたいです。



美浜東小学校  
5年 紙谷 ひまりさん



これまで長く続いてきた伝統が無くなることは、寂しく思います。

この学校では、4・5・6年生で一生懸命取り組んだ体育祭での組体操が一番の思い出です。また、代表委員会で企画した全校児童での〇×クイズも印象に残っています。

美浜東小学校は、児童全員が仲良く、毎日学校に行くのが本当に楽しみです。学校は、友達がいなくて楽しくありません。新しい学校も、みんなで仲良くなり、全校遊びをしたいです。

これまで何度か交流授業をしましたが、丹生小学校・菅浜小学校のみんなは明るい子ばかりで、すぐに仲良くなれると思います。みんなで早く友達になり、毎日楽しく過ごしましょう。

## 小学校再編を経て 思い出を胸に 新たな地で飛躍する 児童たち

小学校再編により新たな学校生活を始める415人の児童たち。

児童たちは、母校の閉校にさまざまな思いを持っていきます。

大好きだった小学校でのたくさんの思い出、この学校で学んだこと、新しい小学校への期待。

ここでは、7つの小学校それぞれの児童に閉校を迎えての今の心境を伺いました。

※校名・学年は3月取材時の内容です。



美浜西小学校 今村安宏校長

**子どもにとっての  
最善を考える**

美浜西小学校では、「よく学ぶ子・ささえあう子・元気な子」の教育目標のもと、「あいうえおの学校づくり」「あ」明るい挨拶・返事ができる子、「い」いっぱい勉強する子、「う」運動をして体を鍛える子、「え」笑顔で生活する子、「お」思いやりをもって、お友達を大切にする子」に取り組んでいます。また、新設校という意識を持ち、保護者や地域の方々にこの学校の教育方針を理解していただくとともに、何でも意見や相談をいただける「顔が見える関係」を作りたいと考えています。新しい学校での生活が始まり、不安そうな表情をしている児童もいま

したが、担任やスクールカウンセラーが相談にのりながら、教職員全員で情報を共有して様子を確認し、児童が安心して学校生活を送れるように一丸となつて取り組んでいます。これまで児童は、それぞれの地域・学校の異なる文化を学んできています。小学校再編により、さらに校区が広がり、これまでより広い範囲での地域学習が可能となり、児童は、さまざまなことを経験して成長してくれると思います。新設校として、これから新しい校風や伝統を築いていきますが、常に「児童にとつて何が一番大切か」を考え、保護者や地域の方々にご協力いただきながら、児童全員が喜んで学校に通うことができる学校づくりを進めていきます。

それぞれの小学校の伝統と文化を受け継ぎ、新たな学校の歴史を築いていく美浜西小学校、美浜中央小学校、美浜東小学校。

それぞれの小学校は、これからどのような教育目標を掲げ、児童の育成に取り組んでいくのでしょうか。

ここでは、新小学校の校長にそれぞれ伺いました。

## 新小学校が 目指す 教育とは



それぞれの学校の歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな歴史を歩み始めた美浜町の3つの小学校。

それぞれの学校の伝統・文化が融合した新小学校で、児童たちはこれからさまざまなことを経験し、成長を遂げていきます。

町では、今後も児童一人ひとりがより成長できる教育環境を実現するため、各小学校と連携を図りながら、学校教育の充実に努めていきます。

### この学校だからこそ できる教育を

新しい小学校のスタートとして、まずは教育の基本に立ち返り、「豊かな心を持ち、心身共にたくましい児童の育成」を目標に掲げています。小学校再編は、児童はもちろんのこと、保護者や地域の方々も気にかけておられます。皆さんに小学校を再編して良かったと思っただけのような学校にしていくため、全校児童が仲良く充実した生活を送り、学校に行くことが楽しいと思っもらうことが大切だと考えています。そして、新たな美浜東小学校の児童数環境などからこそできることを最大限に考え取り組んでいきたいと思えます。スタートにあたり、一人ひとりの

児童の様子を気にかけているが、皆さん仲間と積極的に交流を図り、とても明るい表情を見せてくれるため安心していきます。児童たちは、多くの仲間の中で、さまざまな考え方を学び、協力し合い、切磋琢磨して成長していくと思えます。美浜東小学校での生活を通して、小学校はもとより、地域のことを誇りに思い、将来もさまざまな形で地域と関わってくれるような大人に育ってもらえたら嬉しいですね。現在、新しい美浜東小学校として、教職員一丸となり、すべての体制を一から見直すとともに、保護者との連携をこれまで以上に大切にしたい学校づくりを進めています。保護者や地域の方々には、どんなことでも、気軽に相談してほしいと思えます。



美浜東小学校 清水美由紀校長

### 個と集団を大切に 学校でありたい

美浜中央小学校のスタートにあたり、「あかるくかしくたくましくみんなでつくる楽しい学校」を教育目標に掲げました。この目標には、「一人ひとりの児童と同時に集団を大切にしたい」という思いがこめられています。本校では、個人の能力向上を大切にしながら、全員が目標を達成することに喜びを感じる児童の育成を目指しています。また、高学年の児童には、さまざまな集団活動の中でリーダーとして頑張ることの価値を学んでほしいと思います。このような学校をつくるには、まず、みんなが仲良くすることが必要

です。そのため、児童には、友達の考えをしっかり聞き、自分の思いをきちんと言葉で表現することの大切さを伝えていきます。学校生活の中で、友達と仲良くする術を学ぶことは、将来必ず活かされるものと思えます。新しい学校は、昨年、学校間交流学習を実施してきたことで、順調にスタートを切ることができ安心しています。子どもたちは、多くの友達との関わりの中で、仲良くすることの楽しさや難しさを学んでいきますが、その過程には教職員によるサポートはもちろん、保護者や地域の方々の方が必要です。児童、教職員、保護者、地域の方々等、みんなで楽しい学校をつくっていきましょう。

美浜中央小学校 森本克行校長



# 美浜町農業基本計画（概要）

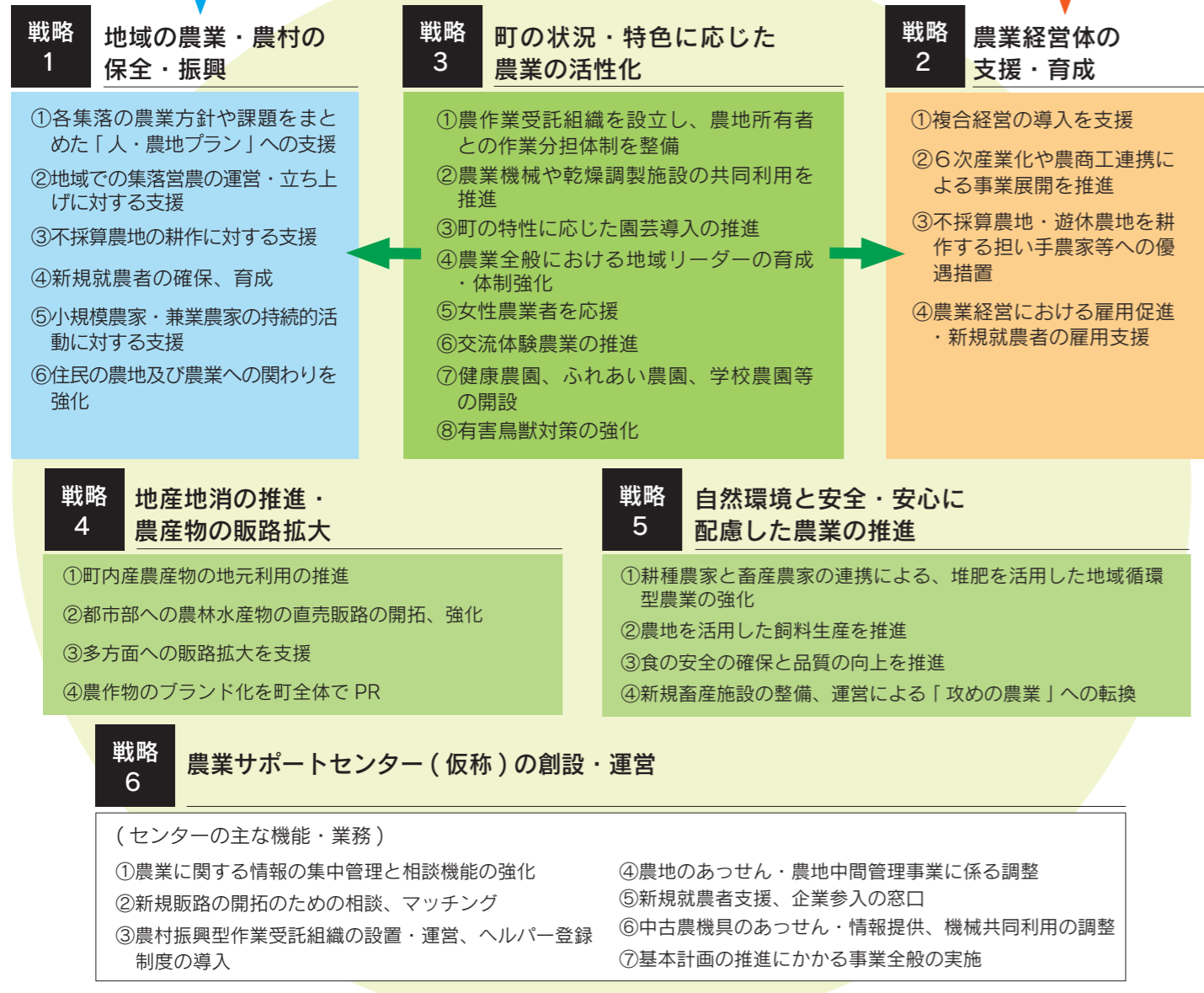
国や県が示している農業の方向性を踏まえつつ、町農業が抱えている課題と地域の特性を考慮しながら、今後5年間に於いて農業を産業として発展させると同時に、農村や農地の多面的な役割を保全し、農業・農村の振興を果たすための施策

**基本理念 1** 農業の多面的機能の発揮、豊かな暮らしと農村社会を育むための「生きがいづくり・むらづくり農業」（農村振興型農業）の実現

集落営農組織、兼業農家、新規就農希望者や地域住民も農業・農村の維持・振興にとって大切な存在であると位置づけ、「人・農地プラン」に基づく集落での話し合い、中山間地域の農地管理、若者の定住促進等に取り組めます。施策の展開にあたっては、国や県の方針を尊重しつつ、美浜町の現状や特徴を踏まえた取り組みを行うことを重視します。

**基本理念 2** 農業の持続的な発展に貢献する「強い農業・もうける農業」（利益追求・経営型農業）の育成・発展

美浜町の農業を産業として支える農業経営者を育成するために、園芸部門の導入や6次産業化・農商工連携等の経営の複合化・多角化を進めるとともに、販路の拡大を図ります。施策の展開にあたっては、国や県の計画を尊重しながら、町として補完していくことを重視します。



# 美浜町農業基本計画を策定

農業・農村の保全と振興を目指して

**町** では、平成27年3月に町の農業及び農村を振興していくための基本方針となる「美浜町農業基本計画」を策定しました。

この計画は、国や県が推進する農業施策（農業生産体制強化のための農業の大規模化・園芸導入等）を踏まえ、地域の特性や町の農業が抱える課題等を考慮し、今後5年間の町の農業施策を定めたものです。

計画の策定にあたっては、これまで、町内農業者や有識者等で構成した計画策定委員会で協議を重ね、本年2月4日に山口町長に答申し、これを受け、町が策定しました。



↑計画を答申する北川太一委員長（右）

## 町の農業の特性と現状

美浜町の農業は、これまで豊かな自然環境や地域の資源、技術を活かしながら展開してきました。

圃場整備が進んだ田の条件を活かし、水稲や大麦を中心とした生産が行われるとともに、黒枝豆や白ネギ、サツマイモ等の園芸のほか、梅やブドウ等の果樹生産に取り組む農家もあります。

また、畜産業を営む農家もあり、平成17年に整備した堆肥化施設（エコクル美方）において、畜産業で発生する家畜糞尿を利用して堆肥を生産し、それを農地に散布して土壌改良へ利用する取り組みも行っています。

近年では、「若狭美浜はあつふる体験」により、農業や漁業、森林の資源を活かした農林漁業体験を実施し、町外の子どもたちとの都市農村交流事業が広がりを見せています。



↑田植え体験を通して自然と触れ合う子どもたち

## 美浜町が抱える課題

町が抱える課題や特徴を農業関係者で組織した農業懇談会で検証した結果、次の課題等があげられました。

- （主な課題）
- ▼美浜町は中山間地であり条件不利地が多い
  - ▼農業者数の減少、高齢化が進む中で新規就農者が育成されていない
  - ▼鳥獣被害による収穫量の減少、営農意欲の減退
  - ▼県内でも米作への依存度が高く園芸導入等の複合経営化が遅れている



↑山すそに広がる農地

これらの問題により、住民の農業や農地への関心が薄れ、農村集落におけるコミュニティ機能の低下に繋がっています。

## 町の特性・課題を踏まえた計画策定

策定委員会では、町の特徴や多くの課題について協議を重ね、今後、農村や農地を守るとともに、持続的な農業の構築を目指し、2つの基本理念とそれを実現するための6つの戦略を設定しました。（次頁参照）

## 今後の計画の推進にあたって

町では、今回策定した農業基本計画の実現のため、現在、具体的な施策やスケジュール、数値目標を明記したアクションプランの作成、また、本計画の中核を担う農業サポートセンター（仮称）の設置の準備を進めています。

平成28年度以降は、これらの取り組みに併せ、農業サポートセンター（仮称）を中心に、地域や農協、県等と連携しながら、農業施策の更なる充実・強化を図っていきます。

## ※お問い合わせ先

町農林水産課（担当：上光）  
☎ 32-6706